

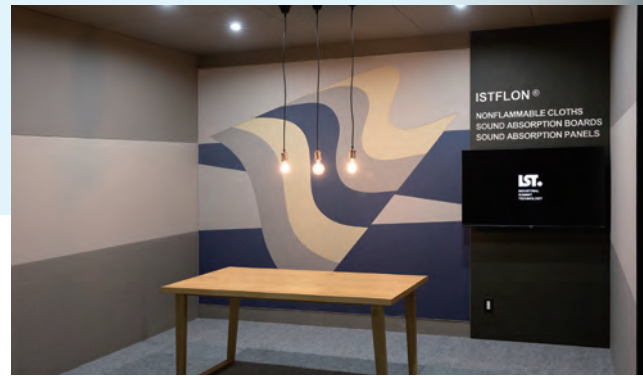
元気企業 訪問

株式会社
I.S.T (アイ. エス. ティ)

代表取締役社長

阪根 利子さん

さ か ね と し こ



柔らかな風合いと着色できるのが特長の不燃ヤーンを使用した壁面ボード

社員の3分の1を占める研究・開発者が
自由な発想とアイデアで「世にないもの」を
生み出す研究開発型マテリアルブランド

「他社にないもの、付加価値の高いものを、最高品質で届ける」の社是のもと、原料におけるモノマーの重合を初めとして、独自の複合技術を用いた高機能材料、不燃、及び高機能繊維などの新素材を開発。それらの製品は、OA機器、建築、電気、電子、航空など様々な分野で活用され、高い信頼を得ている。また、少子高齢化など直面する社会問題に対応するため、独自の社会貢献活動に取り組んでいる。

▼起業からわずか2年。
「燃えない糸」の開発で
社業に勢いがついた

― 創業の経緯と現在の事業内容とは？

創業は1983（昭和58）年、現在の会長で私の父である阪根勇が「研究開発を行い、その技術を販売する会社」として操業を開始しました。最初に手がけたのが燃えない糸（不燃繊維イーストフロン®）で、これが1984（昭和59）年に東京で起きた電電公社（現・NTT）の地下ケーブル火災事故の再発防止策として、ケーブルの耐

火カバーに採用されました。これによって社業に勢いがつき、1991年には大手OA機器メーカーの複写機用キーパーツの開発・製造を手掛けたことで、当社の技術開発力は世界に高く評価されるようになりました。

現在当社では、ポリイミド樹脂を軸とした高機能高分子材料、宇宙航空機用複合材料、OA機

▼滋賀県は素晴らしい。他所にないものが沢山ある。そのサポートと共に、当社の「世界初！」が次々と生まれている

― 滋賀県に本社を構える利点とサポインの活用については？

滋賀県にある本社・研究所では全社員のおよそ3分の1が研究開発や技術開発に従事しています。

新しい素材は、その素材が使われる分野や最終製品を熟知することにより生み出されます。滋賀県には公的試験研究機関の「工業技術総合センター」など、

には申請から事業終了までの3年間、事務局としてご協力いただきました。このプロジェクトで完成された技術で、現在スキー板やゴルフシャフトへの応用開発を行っています。

このサポインプロジェクトの他にも、本来茶色をしているポリイミドを透明にした「透明ポリイミド樹脂」、それを使った透明ポリイミドロールフィルム「TORMED®（トーマッド）」、



共同開発中のスキー板（上）。ゴルフシャフト（下）は内部にイミドテックス素材を入れ、飛距離をのばす研究開発を行っている

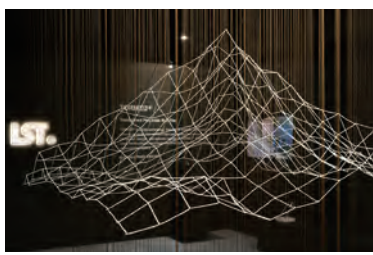
前出の「TORMED®（トーマッド）」、前出の「イミドテックス®（イミドテックス）」など、当社の研究・開発において滋賀県の機関や大学との連携で「世界初」を次々と生み出しています。

▼目指す頂上をしっかりと見据え、自由な発想で課題に立ち向かうことが研究開発の基本

― 社員に期待するもの、そして今後の展望は？

社名の「I.S.T」は「Industrial Summit Technology」の頭文字を取ったもので、「産業技術の最高峰」の意味です。他社にないものを研究・開発するには「発想」が重要です。研究・技術開発者には、常に「登る山の頂上（ゴール）」を見据えた上で、自由な発想で課題に向かう」ように言っています。そのためには準備が最も大切。山登りでも、頂上を目指すチャンスは何度も訪れはしません。その意味で「実験も入念な準備をし、本番はワンチャンス」と繰り返しアドバースしています。

研究開発の仕事は、成果が出るまでに長い時間を要します。そのため、将来に向けて沢山の良い種をまき続け、次々と新しいアイデアを提供していける「I.S.T」でありたい。それが当社の強みであり、目指すところでもあります。今後も、これまで当社が手がけてこなかった分野にも事業の領域を広げ、新たな業界や企業との取引を増やしていきたいと思っています。



社名に因んだエベレストのオブジェ。茶色の縦糸はポリイミド繊維で100本の糸をよって1本を作っている。高強度でハサミやナイフでは切れない

▼会社、社員、社会。「三方よしの社会貢献活動」を実践

― CSRの取組は？

2003年に厚生労働大臣賞を受賞した「GSレプロプロジェクト」は高齢者雇用と生産性の向上を両立させるのが目的のプロジェクトです。兵庫県の加美工場において地域の高齢者を雇用

し、1日数時間を工場で働き残りの時間は職場の仲間との交流で過ごしてもらいます。高齢者の方に「自分たちにはちよっとキツイと思う作業」を指摘してもらい、その作業工程の改善や自動化に取り組むことで熟練者や職人といわれる人でなくとも、誰もが働ける生産体制を整えています。

また、社員には会社負担で介護資格を取ることを推奨し、取得者の介護施設への派遣も行っています。異種の仕事を体験することで、これまでとは違ったアイデアが生まれてくることがあります。CSR活動という面もありますが、会社にも社員にも社会にも「三方よし」となる活動です。



I.S.Tで開発した天然繊維で作られた衣類

<PROFILE>
株式会社I.S.T (アイ. エス. ティ)
■代表者／代表取締役社長 阪根 利子
■従業員／128名(グループ全体498名)
■所在地／滋賀県大津市一里山5-13-13 (本社・研究所)
■業務内容／ポリイミド樹脂を軸とした高機能高分子材料、OA機器用機能性部材、各種テキスタイル素材および製品、不燃繊維および応用製品、計量機器などを中心とした新しい材料と製品の研究開発およびそれらの製造
■TEL／077-543-2211
■URL／https://www.istcorp.jp

※ 戦略的基盤技術高度化支援事業(通称：サポイン)

国の中小企業の研究開発に対する代表的な競争的資金支援制度。産業支援プラザは平成19年度から、しが新事業創造ネットワークの活動を通じ構築した産学官連携による研究プロジェクトに対して、事業管理機関として研究開発を支援しています。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

連携推進部

イノベーション推進課

☎ 077- 511- 1414

☎ 077- 511- 1418

✉ ino@shigaplaza.or.jp